

ホームページへの掲載		
済	2月 21日	掲載

## 岐阜県立岐阜城北高等学校

学校長 赤坂 和之  
学校住所 岐阜市三田洞456-1 電話 058-237-5331

- 1 会議の名称 学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
- |    |         |                |
|----|---------|----------------|
| 委員 | 井深 孝敏 様 | 三田洞第3自治会 代表    |
|    | 菊池 啓子 様 | 中部学院大学短期大学部 教授 |
|    | 小泉 宣昭 様 | 岐阜北ロータリークラブ    |
|    | 河野 隆 様  | はなぞの北幼稚園 園長    |
|    | 藤吉 礼三 様 | 元PTA会長         |
- (委員名は五十音順)
- |     |       |                 |
|-----|-------|-----------------|
| 学校側 | 赤坂 和之 | 校長              |
|     | 宮田 慶美 | 教頭              |
|     | 後藤周太郎 | 教頭              |
|     | 三輪 英明 | 事務長             |
|     | 森 公彦  | 教務主任            |
|     | 岩井 順子 | 生徒指導部長          |
|     | 大西 伸郎 | 進路指導部長代理 3年学年主任 |
|     | 車戸 祐介 | 総合学科長 記録        |
- 3 会議の目的 学校運営や教育活動について、地域や関係機関の方から要望や意見を聞き、特色ある学校づくり、地域に貢献できる学校づくりを目指す。
- 4 会議の開催 令和2年2月6日(木) 13:30~15:30 岐阜城北高等学校校長室  
委員5人と学校側7人が出席  
(1) 学校長の挨拶  
(2) 生徒発表と講評  
(3) 学校の取組について  
(5) 令和元年度自己評価について  
(5) 協議
- 5 会議の概要

- (1) 学校の取組及び自己評価について
- ①生徒発表(代表生徒3班と評議員による懇談)
  - ②各分掌の取組について(教務部、生徒指導部、進路指導部)
  - ③平成30年度自己評価について(全体説明、教務部、生徒指導部、進路指導部、他分掌)
  - ④その他 校則について(校長)

### ○学校の取組について

校長： 後期の取組について紹介したい。最近では、薬物乱用防止ポスターにおいて、文部科学大臣賞をいただき、来年度、全国の学校にポスターが配付される。また、日商簿記検定1級の合格者を輩出でき、彼らはこの先の税理士、公認会計士を目指すパスポートを得ることができた。懸垂幕に係る経費が当初予算をオーバーすることになっているものの、嬉しい悲鳴である。10月中旬には「紫翠祭」「球技大会」を無事に実施でき、11月の「城北 Co-Market」は、天気が良かったこともあり、好評のうちに用意した商品を完売することができた。1月の「卒業発表会」では、各系列・コースが体育館や各部屋で発表を行った。少子化の影響で、来年度は総合学科が1クラス40

名から35名となるなど、変革期を迎えることになる。地域とのつながりを活かして、地元で愛される学校として残っていかなければならないと感じている。皆さんの後ろにある旗は、吉田旗店さんに協力をいただき、本校芸術文化系列の生徒が制作したものである。このような成果物も少しずつ残っている。明日はマラソン大会が行われ、PTAによる「豚汁サービス」も行われる。

### ○3年生進路状況

**学年主任：** 本年度3年生は、就職者が3割、進学者が7割程度である。進学者は、AO入試や指定校推薦で専門学校・大学等へ進学する生徒が多いが、国公立大学を目指している生徒もおり、先日のセンター受験も受験した。

**意見1** 資料に「フリーター2名」とあるが、どういうことか。

**(回答)** 本人の希望である。就職者はほとんどが地元志向であり、県外は3名のみである。フリーターのうち1名は進学を希望しているが、お金を貯めてから進学したいとの意向である。

**意見2** 目的をもってのフリーターであればよいと思う。

**意見3** 昨今、就職の状況はよいと思われるが、公務員の状況はどうか？

**(回答)** 岐阜県警察1名、消防2名（中濃消防・岐阜市消防）など、公務員は計3名が合格した。合格できなかった者は、公務員専門学校などを経由して再チャレンジする予定である。その他にも、岐阜北郵便局に4名が内定している。

### ○令和元年度自己評価について

#### <教務部>

**校長：** 結果が横ばいのもの、悪くなっているものもあり、それらを重く受け止めていきたい。「学校経営教育方針」については、昨年より少し下がっている。「家庭との連携」においても、同様に下がっており、「教職員」においても厳しい評価となっている。教員の働き方改革については54.5%の肯定的意見があるが、「わからない」という回答も多い。来年度は働き方改革がさらに推進され、現状では時間外勤務が月45時間を超える職員が多くいるが、改善できるように取り組んでいきたい。

生徒対象に「授業評価アンケート」も実施しているが、授業にはよい評価をしてくれている。「学習指導」については、昨年度より評価が上がっており、探究的な学習の充実に向けて努力できているようである。

**教務主任：** 今年度、本校のマニフェストとして、「家庭学習時間調査による学習時間数の増加」や「職員間の授業参観3回以上」、「生徒による授業評価の肯定的意見80%以上」を掲げ取り組んできた。

家庭学習時間調査では、学年が上がるにつれて学習時間が減っている。家庭学習用プリントや問題集を活用して、進路決定後も学習に目をむける取組が必要だと感じている。

職員間の授業参観については、5月と11月に公開授業週間を設けている。他教科の授業を自由に参観し、意見交換している。3回以上を目標としているが、結果は平均で2.7回であった。普通教室にICT環境が整備されたため、コンピュータやタブレットを使った授業の研究が必要である。生徒に分かりやすい授業をしていくためにも、自己研鑽の場としていきたい。

生徒からの授業評価では、「先生の説明が丁寧で理解しやすい」という項目には90%以上が当てはまると答え、「この授業に対して、興味や関心が高まった」という項目には、90%が肯定的意見であった。7月に実施した学校評価アンケートでは、68.1%と低い評価であったため、結果を分析し、来年に活かしたい。

**校長：** 先日行われた家庭科の研究授業では、生徒のスマホを利用してアンケート集計を行うなど、学習環境が変化している。夏休みに黒板がホワイトボードとなり、今はチョークを使わなくなった。

### <生徒指導部>

生徒指導部長： 正しい制服の着こなしや基本的生活習慣の確立などを重点的に行っている。個々の生徒への丁寧な指導が必要だと感じている。

交通事故は10件程度であった。また、遅刻は特定の生徒で増えているため、粘り強い指導を続けていきたい。

アンケートの「いじめや差別を許さず、厳しく対応している」の項目については、生徒・保護者ともに厳しい結果となっている。学校が組織として対応することを徹底し、改善を図りたい。

女子のスラックスの着用について、一部報道では男女の線は引かないのが望ましいとあったが、本校の「制服」や「頭髪」等の身だしなみ規定について、ご意見を伺いたい。

生徒心得の校外活動について見直し・改善を行った。

校長： 現在、校則の見直しを行っている。一部ではブラック校則などと叫ばれ、人権侵害にあたるのではないかと指摘もあるが、本校においては保護者・生徒から困っているという声はない。学校として地域の方々からのご意向や生徒の進路選択を見据え、検討していきたい。

意見4 明確に判断できるものはよいが、例えば、自転車通学の範囲などは線引きが難しい面もある。学校の意向を大切にすべきなので、評議員として意見を言うことは難しい。

校長： 人権侵害となり得るものを廃止することは当然であるが、夜10時以降の外出などについては家庭の役割と考えている。本校では、午後6時以降は留守番電話対応とし、学校と家庭の役割分担をしたいと考えているが、社会はそのような認識でない部分もある。学校外での自転車放置は学校管理外とはなかなか言えず、学校外についてもある程度は校則で示す必要があると感じている。

意見5 ある程度の校則・ルールは必要であり、社会に出たときのためにも、学校で生徒を育てることが必要である。中小企業は人手不足であるため、比較的採用されやすい現状がある。外見で人柄を判断できないが、社会に出たときのマナーや日本人の美德などを学校で教えることは必要である。外国人労働者も雇っているが、当然文化も違うが、マナーや挨拶を教えなければならないと思っている。

意見6 入学書類などを拝見すると、高校で随分指導がなされていると感じる。大学にも様々な学生がいるが、セレモニーや実習先への事前訪問等では、教員が指導している。そのような指導は、信頼のおける大学、信頼に値する学校かどうかという評価につながる。

意見7 就職すると、より厳しい規則もあるため、生徒には学校で決めたことをしっかりと守らせることが必要ではないか。当たり前のことであっても、根気よく指導することがその生徒のためになる。

生徒指導部長： 今後は男女の制服指定をなくす。昨今のLGBTへの配慮が背景にある。

校長： 今年度の入試の願書から、性別欄がなくなるなど配慮が進んでいる。

生徒指導部： 制服については、女子のスラックス着用を検討したい。LGBTへの配慮というよりは防寒対策や制服の選択の自由等の理由により、生徒が望む形にできる限り対応していきたい。男女の垣根をなくし、ブレザー、スカート、スラックスという表記に改めたい。

意見8 大学は講演会を行うなど、LGBTへの対応がより進んでいる。城北高の取組も先進的でよい。城北はどんな生徒も受け入れるという意味で、いい取組である。かねてから、城北には被服に関するコースがあり、女子のスラックス着用の検討をきっかけとしたLGBTへの取組は、おしゃれ、洗練・・・といった意味でもアピールになるのではないかと。

### <進路指導>

学年主任： 進路ガイダンスなどは業者と連携しながら実施している。しかしながら、アンケートでは7～8割の満足度しかないため、原因をリサーチしていく必要がある。教員同士の共通理解を念頭に、担任の理解が深まるよう、研修会なども行っていきたい。新

大学入試制度に対応できるよう、1年生全員が e-portfolio に登録し、スマホを利用して入力している。

校長： キャリアパスポートは、本人の学びの過程が分かるように、小中高で蓄積していくものである。今後は保管の方法について検討したい。

#### <その他の分掌について>

教頭： 他の分掌等については資料を参照していただくことで評価いただきたい。

意見9 保護者アンケートの「学校環境」の項目においては、結果が著しく改善しているが、どういふことか。

校長： これは、エアコンの設置によるものである。昨年は猛暑であり、厳しい学習環境であったが、改善された。

意見10 生徒アンケートにおける、「体罰への対応」に関して、C・Dと回答する生徒がいるが、これについてはどうか？

校長： 体罰については調査によると、身体的なものではなく、言葉によるものであった。生徒を励ますつもり言葉でも、受け入れる側の気持ちやタイミングにより、様々な捉え方があるため、注意が必要である。

意見11 先生に直接、申し出があるのか。

生徒指導部長： 申し出ではなく、体罰調査などに書かれている。教員の言葉遣いにも反省しなくてはならない点がある。

校長： 励ます言葉にも配慮が必要である。言葉の捉え方による友人間のトラブルもある。

#### <本校への助言>

意見12 私は建設業であるため、命に関することには厳しく言っている。今の時代は世代間ギャップも大きく、どのような「言葉」をかけるか、どのような言葉を使うかが重要であり、学校と同様に企業でも配慮が必要である。

意見13 今日は、生徒の声が聴けたのが良かった。いい生徒を育てているので、是非うちの大学に入学してほしい。大学にも多様なニーズのある学生がいるが、高校と大学との連携を密にし、一人一人の、個の夢を達成させていきたい。

意見14 朝、西側校門の隙間から入る生徒をよく見かける。隙間から入らないようにする、もしくは、門を開ける時間を早くするなどできないか。また、学校からの坂道では自転車でかなりのスピードを出している生徒もあり、危ないと感じることがある。

意見15 地域密着型の学校として、今後も頑張してほしい。

#### ○会議のまとめ

校長： 長時間にわたり、貴重なご意見、温かい励ましのお言葉をいただき、感謝したい。地域になくてはならない学校としての使命、存在価値を高めていきたい。今後、子ども数が減っていくことから、これまで以上に独自性を打ち出し、城北高として、地域から親しみをもってもらえる学校を目指していきたい。